

登録コード	HM219103	開講年度	2026					
授業題目	母子保健学演習 D						担当教員	金井 誠
英文授業名	Practice in Child and Women's Health Science D						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・ 5 時限	火曜・ 6 時限	対象学生	母子保健学ユニット / 1 年次
講義室				授業形態	演習	備考	選択科目	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					医学または保健学における国内外の研究の動向を理解するとともに、独創的な観点から研究課題を設定し、科学的論文を作成する上での研究計画書を作成することができる		
(2)詳細 /Detailed information	母子保健学領域に関する研究課題について，国内外の文献の講読と批判的思考を通して，情報収集能力・分析能力を身につけ，研究課題を精選するとともに，研究課題を進めるための研究方法や各種条件を整えることを一般学習目標とし，以下を行動目標とする。 1．課題に関する原著論文を，適切に情報収集し，邦文・欧文に関わりなく読み解くことが出来る分析能力を身につける。 2．論文講読を通して，主体的に課題を導くことができる。 3．研究課題を推し進めるに当たり，必要な各種条件を整えることができる。 4．研究計画書を作成できる。							
(3)授業の概要 /Overview of course	周産期における母子保健(特に母体産科合併症，胎児発育不全など)に関する諸問題を中心に，国内外の文献の講読と批判的思考を通して，研究課題を精選する。 さらに研究課題を実施する際に適した研究手法の選択や調査・測定・分析方法について論究していく中で，課題に必要な各種条件を整える。 本授業は，男女共同参画に関する内容を含んでいる。 本授業は，担当教員の医療機関における産婦人科医としての実務経験を活かして講義を行う。							
(4)授業計画 /Course plan	第1回～5回 ； 1．母体産科合併症，胎児発育不全に関する疫学・発症機序についてプレゼンテーションとディスカッションを行う 第6回～15回 ； 2．母体産科合併症，胎児発育不全に関する国内外の論文を講読し，何がどこまで解明されてきているのかについてについてプレゼンテーションとディスカッションを行う 3．自らの研究課題に関連した国内外の論文を講読し，1つ1つの研究方法や解釈について批判的に講読を進めると同時に、研究課題を推し進めるための研究方法についてプレゼンテーションとディスカッションを行う							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	第1回から第5回のプレゼンテーションとディスカッションの内容を各4点、第6回から第15回のプレゼンテーションとディスカッションの内容を各8点で採点し、合計が90-100点(秀)，80-89点(優)，70-79点(良)，60-69点(可)，60点未満(不可)とする。 プレゼンテーションとディスカッションの内容の評価基準は以下とする。 ()問題の設定が適切である。() その問題の背景を説明できている。()その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。()それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。()その上で自分の見解を提示できている。()教員を感心させるレベルにある。()から ()の6項目を満たしていれば「卓越している(秀)」。() から () の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」，4項目までできていれば「やや上にある(良)」，3項目までできていれば「合格水準にある(可)」							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回リーディング課題を課す。 授業開始直後にその理解を問う口頭試問を行うので，それに備えて課題をしっかりと読み込んでから授業に臨むこと。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問、相談は講義中もしくは終了後にいつでも受け付けます。 定時のオフィスアワーは設けていませんが、メールで連絡していただければ随時設けます。 連絡先；makotok@shinshu-u.ac.jp 研究室は中校舎3階にあります。							
(8)授業の形式 /Course format	一部講義，一部プレゼンテーションとディスカッションを行いながら進める。							